

**製品名: GR (リン酸化 Ser211) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04741**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	95kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NR3C1
別名	NR3C1; GRL; Glucocorticoid receptor; GR; Nuclear receptor subfamily 3 group C member 1
遺伝子 ID	2908.0
SwissProt ID	P04150
免疫原	抗血清は、Ser211 のリン酸化部位周辺のヒト GR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

**背景**

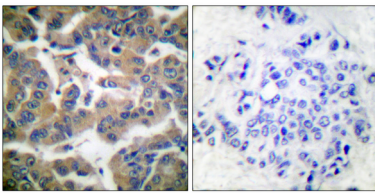
この遺伝子はグルココルチコイド受容体をコードしており、グルココルチコイド応答遺伝子のプロモーター領域にあるグルココルチ

コイド応答配列に結合して転写を活性化する転写因子として、また他の転写因子の調節因子として機能します。この受容体は通常は細胞質に存在しますが、リガンド結合により核内へ移行します。標的組織における炎症反応、細胞増殖、分化に関与しています。この遺伝子の変異は、全般的なグルココルチコイド耐性と関連しています。

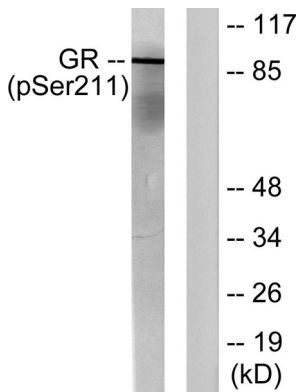
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

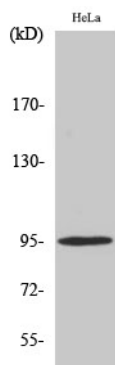
## 画像データ



GR (リン酸化 Ser211) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



GR (リン酸化 Ser211) 抗体を用いた、ヒートショック処理した HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



ホスホ GR (S211) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析